

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【公開番号】特開 2006-26805 (P2006-26805A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-005
 【出願番号】特願 2004-209449 (P2004-209449)
 【国際特許分類】

B 2 5 C 5/16 (2006.01)

B 2 7 F 7/38 (2006.01)

【F I】

B 2 5 C 5/16

B 2 7 F 7/38

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 29 日 (2006.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ステープラ本体に着脱されるカートリッジ本体と、内部に連結ステープルを収納したリフィルとを備え、このリフィルを上記カートリッジ本体に交換可能に取り付けられるようにしたステープルカートリッジにおいて、

上記ステープルカートリッジの一端側にはリフィルの装着部を設け、このリフィル装着部と他端のステープル打ち出し部との間には、リフィル内の連結ステープルを打ち出し部に案内するガイド部を設け、

上記ガイド部とリフィル装着部の下部に、それぞれガイド部内の連結ステープルの有無に応じて作動する第 1 のアクチュエータと、リフィル装着部内の連結ステープルの有無に応じて作動する第 2 のアクチュエータとを配置し、上記第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータとを連動させた

ことを特徴とするステープルカートリッジ。

【請求項 2】

前記第 1 のアクチュエータは前記ガイド部内の連結ステープルの有無に応じて中間部を中心に回動し、上記第 2 のアクチュエータは前記リフィル装着部内の連結ステープルの有無に応じて中間部を中心に回動するとともに、上記第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータを直列に並べ、第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータの隣り合う端部を、一方の回動に対して他方が連動するように連係させた、請求項 1 記載のステープルカートリッジ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

ところで、ステープラ本体にはステープルカートリッジ内に連結ステープルが残存しているかどうかを検出する機構（特許文献 1 参照）と、ステープルカートリッジから供給さ

れたステーブルがガイド部に有るかどうかを検出する検出機構（特許文献 2 参照）が設けられている。後者の検出機構はステーブルカートリッジのステーブル排出口とステーブルカートリッジの先端の打ち出し部との間に形成されたステーブルガイド部にステーブルの有無を検出するセンサを配した構造であり、前者の検出機構は、ステーブルカートリッジ自体に穴を明け、最終のステーブルが上記穴を通過して上記穴が空になったことでセンサが作動するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

このように、従来の検出機構は、ステーブルカートリッジの検出は、カートリッジ本体の装着部にステーブルカートリッジの先端が届いたことを検出すると、制御部では上記装着部にステーブルカートリッジが装着されたと判断し、綴り作動の準備を完了させていた。このため、綴り作業の命令が出されると、ステーブルの打ち出し機構が作動するようになっていた。

【特許文献 1】特開 2003 - 62765 公報

【特許文献 2】特開 2003 - 80503 公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するため、本発明に係るステーブルカートリッジは、ステーブラ本体に着脱されるカートリッジ本体と、内部に連結ステーブルを収納したリフィルとを備え、このリフィルを上記カートリッジ本体に交換可能に取り付けられるようにしたステーブルカートリッジにおいて、上記ステーブルカートリッジの一端側にはリフィルの装着部を設け、このリフィル装着部と他端のステーブル打ち出し部との間には、リフィル内の連結ステーブルを打ち出し部に案内するガイド部を設け、上記ガイド部とリフィル装着部の下部に、それぞれガイド部内の連結ステーブルの有無に応じて作動する第 1 のアクチュエータと、リフィル装着部内の連結ステーブルの有無に応じて作動する第 2 のアクチュエータとを配置し、上記第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータとを連動させたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

なお、前記第 1 のアクチュエータは前記ガイド部内の連結ステーブルの有無に応じて中間部を中心に回動し、上記第 2 のアクチュエータは前記リフィル装着部内の連結ステーブルの有無に応じて中間部を中心に回動するとともに、上記第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータを直列に並べ、第 1 のアクチュエータと第 2 のアクチュエータの隣り合う端部を、一方の回動に対して他方が連動するように連係するのがよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

第 1 のアクチュエータ 1 1 は、回動により、上記凸部 1 5 が上記ガイド部 7 に出没可能に配置され、また第 2 のアクチュエータ 1 2 は、回動により、上記屈曲部 1 9 の先端が、装着部 5 に正しく装着されたリフィル 2 のリフィルケース 2 a の底部に形成された穴 2 0 (図 3 参照) から リフィルケース 2 a の内側に出没可能に形成されている。したがって、第 1 のアクチュエータ 1 1 は ガイド部 7 内の連結ステーブル a の有無に応じて作動し、第 2 のアクチュエータ 1 2 は リフィル装着部 5 内の連結ステーブルの有無に応じて作動するように構成されている。